

企画展 三島宿へようこそ



令和5年10月28日 土 ▶ 令和6年2月18日 日

三島市郷土資料館

【開館時間】9:00~16:30 (10月は17:00まで) ※楽寿園の入園は閉館30分前まで
 【休館日】月曜日(祝日の場合は翌平日)12月27日~1月2日
 ※11月は無休 (但し月曜日は企画展示室のみ開館)
 【入館料】無料 (但し、市立公園楽寿園への入園料必要・15歳以上300円、学生は学生証提示にて無料)
 〒411-0036 静岡県三島市一番町19-3 市立公園楽寿園内
 【TEL】055-971-8228 【FAX】055-971-6045
 【交通アクセス】JR三島駅南口から徒歩5分 市立公園楽寿園内

上 : 東海道五拾三次之内 三島 朝霧 (保永堂版) 歌川広重
 下左 : 東海道五十三次之内 三嶋 (行書版) 歌川広重
 下右 : 五十三次名所図会 十二 三嶋 三島大明神一の鳥居 歌川広重

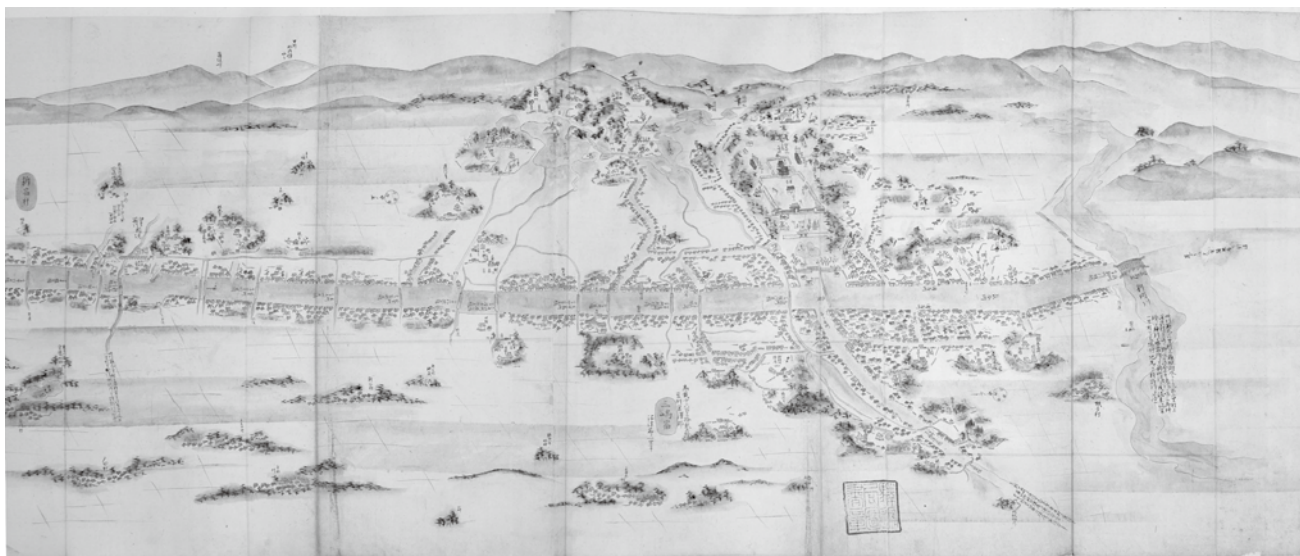
三島市郷土資料館
ホームページ



江戸時代の三島は、東海道に位置する宿場であり、南へ延びる下田街道、北へ延びる甲州道が交わる交通の要衝に位置する町です。宿場としての発展は、現在の三島市を形作った礎であり、地域の歴史や文化に大きく影響を与えています。

今回の企画展では、江戸時代の三島宿はどんな「まち」だったのか、絵図や古文書などからまちの様子や人々のくらしをご紹介します。三島宿のはじまりと繁栄、たびかさなる危機や宿場のおわりまで、江戸時代を通じた三島宿の全体像をご覧いただける企画展です。

(会期中一部展示替え等を行うことがあります)



「東海道分間延絵図控」拾三巻之内参 三島部分(文化3年、郵政博物館蔵)※10月31日(火)～11月26日(日)原本展示、他期間はパネル展示



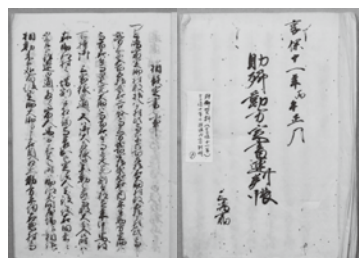
「東海道風景図会」三島部分(嘉永4年、柳下亭種員作、歌川広重画、関守敏氏蔵)



「東海駅旅人通道中図会 完」三島部分(文化2年、西村由清作、関守敏氏蔵)



「御殿地絵図」(幕末か)



「助郷勤方定書連判帳」(三島問屋場町役場文書、享保11年)

関連事業

① 講演会「宿場世界の個性と多様性

—三島宿と神奈川宿の絵図資料の比較から—

11月23日(木祝)

13:30開場、14:00開演、16:00終了予定

三島市民生涯学習センター3階講義室

講師：井上 攻氏(元横浜市歴史博物館副館長)

参加方法：要申込、10月11日(水)から受付開始、
先着順(定員130人)

申込方法：申込フォーム(QRコード)または電話 055-971-8228

② 展示解説

11月18日(土) 11:00～/13:30～

1月27日(土) 11:00～/13:30～

各回30分程度、申込不要

講演会申込フォーム

